明治大学・徳島大学・徳島県連携講座

四国遍路の世界

～遍路文化の独自性と伝統～

日時 平成28年

11月3日[木・祝]

開場：午後0時30分　開演：午後1時（～午後4時30分）

場所 **明治大学駿河台キャンパス**

リバティタワー1階　リバティホール

（東京都千代田区神田駿河台1－1）

〈定員〉
先着400名
入場無料

■プログラム

◎基調講演①「四国遍路の原点～四国と弘法大師信仰～」 大石　雅章

◎基調講演②「四国遍路の聖地と景観」 稲田　道彦

◎基調講演③「四国遍路の魅力～外国人の見た遍路～」 モートン常慈

◎パネルディスカッション

「遍路文化の独自性と伝統」本質的価値に迫る

- コーディネータ　大石　雅章（鳴門教育大学理事・副学長（教育・研究担当））
- パネリスト　林　雅彦（明治大学名誉教授）
  稲田　道彦（香川大学経済学部教授）
  モートン常慈（徳島大学教養教育院・外国語教育准教授）

入場無料

四国遍路日本遺産協議会主催

「四国遍路展～遍路の見た風景Ⅱ～」

開催予定

■平成28年11月2日（水）～8日（火）

■東京交通会館3階（JR有楽町駅前）

四国遍路の魅力が満載の写真展示や歴史資料展示です。ぜひご来場ください！

【後援】「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会

【開催趣旨】

これまでの明治大学・徳島大学・徳島県の連携講座では、世界遺産登録を目指す「四国八十八箇所霊場と遍路道」を主題に「四国遍路」の歴史や魅力、また弘法大師空海の偉業についてテーマを設定し紹介してきた。

そこで、本年度はこれまでの取組の総括として「四国遍路文化の独自性と伝統」をテーマに、聖地四国の弘法大師信仰と庶民の中で生き続ける巡礼に焦点を当て、「四国遍路」が人々を引きつける本質的価値に迫るオープン講座を開催する。

【講師プロフィール】

大石 雅章（おおいし まさあき）

国立大学法人鳴門教育大学理事
副学長（教育・研究担当）

1977年大阪大学文学部卒業。同大学院文学研究科後期課程単位修得退学。鳴門教育大学学校教育学部教授、同センター部長・地域連携センター所長を経て2016年より現職。専門は、日本中世史。四国遍路研究や四国遍路を活用した教育活動を実施。

稲田 道彦（いなだ みちひこ）

国立大学法人香川大学経済学部教授

1974年香川大学教育学部卒業。東京都立大学大学院理科研究科博士課程退学。香川大学教育学部助教授、同教授を経て、1998年より現職。東京都立大学理学修士。研究テーマは、四国遍路の研究。

モートン 常慈（もーとん じょうじ）

国立大学法人徳島大学教養教育院
外国語教育准教授

1969年カナダ生まれ。1988年の初来日より日本文化に魅せられ、1993年立命館大学の交換留学生の際、京都の大徳寺で住み込みを経験。2001年ブリティシュコロンビア大学大学院東洋学部卒。修士論文のテーマは「四国遍路におけるお接待の歴史」。

林 雅彦（はやし まさひこ）

明治大学名誉教授

1944年東京都生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。専攻は、説話文学・絵解き、アジアの宗教民族学。単著・共著・編著に「日本の絵解き－資料と研究」、「日本における民衆と宗教」など多数。絵解き研究で第6回日本古典文学会賞受賞。

【特別企画講座とフィールドワーク開催】

■連続講座「四国遍路の世界観～弘法大師信仰～」

①10月 8 日㈯「四国遍路と弘法大師信仰」 林　雅彦（明治大学名誉教授）
②10月15日㈯「近世絵図にみる四国遍路」 平井　松午（徳島大学総合科学部学部長）
③10月22日㈯「山岳信仰から四国遍路へ」 長谷川賢二（徳島県立博物館人文課長）

※連続講座の開場は、明治大学駿河台キャンパス

■フィールドワーク「四国の自然と大師信仰」 定員30名

11月17日（木）～19日（土）（2泊3日）**※受講料別途実費**

【1日目】[午後] 8番札所「熊谷寺」、66番札所「雲辺寺」等
【2日目】[終日] 別格霊場15番札所「宝珠山箸蔵寺」、10番札所「切幡寺」等
【3日目】[午前] 1番札所「霊山寺」、大谷焼、ドイツ館等

※フィールドワーク講師（予定）明治大学林雅彦名誉教授、徳島県教育委員会教育文化課、徳島大学

お申込

申込方法　事前予約制（全席自由、先着400名）
受付開始日 8月26日㈮午前10時30分

申込先　明治大学リバティアカデミー事務局
URL https://academy.meiji.jp
TEL 03-3296-4423
電話または HP からお申し込みください

問合せ先

徳島県立総合大学校本部事務局（自治研修センター）
Tel.088-612-8801
e-mail:manabia@pref.tokushima.lg.jp